

II サブスペシャリティ領域

1 コース名

周産期(母体・胎児) 専門医コース

2 プログラムの特徴

正常および異常な妊娠・分娩ならびに合併症妊娠に対する診療を行い、助言を提供します。母体・胎児医療の専門医として必要な知識と技能を習得します。

3 到達目標

1. 地域及び施設における周産期医療体制の維持・発展に寄与するために、施設を取り巻く地域の最新の周産期医療状況を把握し、安全で効率的な周産期医療が供給できる能力を習得します。
2. 医学的介入が必要な新生児を選別して十分な医療資源を投入し、かつ不要な介入を避けるために、新生児の正常・異常に関する専門知識を理解し、生まれてきた児に関して収集した種々の周産期情報に基づき、児への適切な対応ができる能力を身に付けます。
3. 妊娠、分娩、産褥ならびに周産期において母児管理が適切に行えるようになるために、母児の生理を理解し、保健指導と適切な診療を実施するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。
4. 妊娠、分娩、産褥ならびに周産期において母児管理が適切に行えるようになるために、疾患の母児の病態を理解し、保健指導と適切な診療を実施するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。
5. 母児を取り巻く健全な家族関係を確立させ、より好ましい成育環境を整えていくために、適切な社会資源の活用を促し、専門的知識に立脚した必要な援助を行う能力を身に付けます。
6. 母体・胎児に最善の利益をもたらす診療を行うために、臨床倫理的な知識を身につけ、母体・胎児のアドボケートとなりうるようなコミュニケーションスキルと診療態度を習得します。
7. 母体・胎児医療チームの診療能力向上のために、学習者に応じた教育・研修指導方法を習得します。
8. 母体・胎児医療の向上に貢献するために、医学研究の必要性を理解・認識し、研究能力を身に付けます。
9. 妊婦、新生児と家族に優しい社会を実現するために、周産期医療の重要性を評価し、それを社会に向かって発信できる態度と行動力を身に付けます。

4 プログラムの概要

(1) 修得項目

【4年目】

合併症妊娠の管理と治療(20例以上) 異常妊娠の診断と治療(20例以上) 胎児異常の管理と処置(治療を含む)(5例以上) 異常分娩の管理と処置(20例以上) 産褥の異常と処置(10例以上) 産科感染症の管理と処置(10例以上) 産科麻酔・無痛分娩(10例以上) 新生児の管理と処置(50例以上) ハイリスク妊娠・胎児に対する診断・管理・手術(5例以上)

【5年目】

上記が3年間で経験すべき受験資格であるが、当院ならびに関連研修施設にて1年間で経験可能です。また、5年目には新生児(NICU)研修を行います。

【6年目】

主に、母体胎児集中治療室(MFICU)がある大学附属病院にて、重症ハイリスク妊娠・合併症妊娠について研修します。

(2) 指導体制(指導医数)

2人

5 受け入れ可能人数

5人

6 修了後の主な進路

指導医となって、福島県立医科大学附属病院を含めた県内関連施設に勤務します。

関連研修施設

周産期（母体・胎児）専門医

